

結果の概要

1 労働争議の種類別の状況

令和 7 (2025) 年の労働争議の状況をみると、「総争議」の件数は295件、総参加人員は100,532人となっており、前年に比べ、件数は17件 (6.1%) 増、総参加人員は5,207人 (5.5%) 増となった。「総争議」の件数は長期的には減少傾向で推移してきたが、令和元(2019)年以降はほぼ横ばいで推移している。

「争議行為を伴う争議」の件数は77件、行為参加人員は17,354人となっており、前年に比べ、件数は1件 (1.3%) 増、行為参加人員は8,372人 (93.2%) 増となった。(第 1 表、第 1 図、10頁附表)

第 1 表 労働争議の種類別件数及び参加人員の推移

年 次	総 争 議		争 議 行 為 を 伴 う 争 議			争議行為を伴わない争議	
	件 数	総参加人員	件 数	総参加人員	行為参加人員	件 数	総参加人員
令和 3 (2021) 年	297	60,389	55	38,540	7,858	242	21,849
4 (2022)	270	53,519	65	37,881	6,447	205	15,638
5 (2023)	292	101,253	75	80,300	8,414	217	20,953
6 (2024)	278	95,325	76	59,373	8,982	202	35,952
7 (2025)	295	100,532	77	72,097	17,354	218	28,435
令和 7 (2025) 年の 対前年増減数 (件・人)	17	5,207	1	12,724	8,372	16	△7,517
令和 7 (2025) 年の 対前年増減率 (%)	6.1	5.5	1.3	21.4	93.2	7.9	△20.9

第 1 図 労働争議の種類別件数の推移

